

令和5年度府中市立浅間中学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（生徒の学び方）

- ① 自らの学習の課題を発見し、克服のために見通しをもって学習に取り組んでいくこと。
- ② 協働的な探究学習を通して仲間の学び方や課題の考え方を知り、学習の目標を決めたり、学習課題を解決したりすること。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ① 探究活動を単元全体を通して計画的かつ効果的に導入し、生徒の主体的な学びの場を設定している授業。
- ② 学習の流れや見通しをもたせ、生徒実態に応じた個別の支援がきめ細やかになされる授業。
- ③ 協働的な探究学習を効果的に取り入れ、学習課題の進化や課題の解決に導く授業。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す生徒の学びの姿

- ① 学習課題を克服するために、学習の手段や工夫の仕方を選んでいる。
- ② 学習の見通しや目標を自ら設定し、粘り強く学んでいる。
- ③ 課題の解決にあたって、仲間と交流することで自分の考えを深めながら学んでいる。

(2) 目指す授業像

- ① 生徒自身が学習を計画する（見通しをもつ）場面や、生徒が考えたことを主体的に発揮する場面が設定された授業。
- ② ルーブリックを活用しながら、生徒が学習目標の達成に向けて、あきらめずに学習に臨むことができる授業。
- ③ 協働的な探究学習が効果的に導入され、深い学びの実現を図ることのできる授業。

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	各単元において可能な限り協働的な探究学習の場面を取り入れ、生徒が積極的に授業に参加できたと実感できる授業を目指す。	美術	生徒が主体的に活動する学習と知識及び技能を身に付ける学習を計画的に設定し、自分が構想した主題を表現する能力を高める。
数学	学習目標を明確にし、学習の見通しを持たせる。思考したことを表現する場を増やし、知識を習得する授業を目指す。	技術	学習目標の明確化をし、課題に対して生徒自身が選択・決定を主体的に行うことができる授業を目指す。
社会	単元ごと生徒に学習内容の見通しをもたせる。思考の場を増やし、知識の定着と新たな気づきを引き出す授業を目指す。	家庭	身近な生活の中で役立つ知識や技能を身に付けるとともに、思考する場を設定して、それらを生活の中で活用する力を育成する。
理科	学習課題を明確化し、学習の見通しをもたせ生徒が考えたことを主体的に発揮する場面がある授業を目指す。	保健体育	単元ごとに学習目標を立て、計画的な学習を促進し、探究活動を通して、仲間と交流しながら学びを深めていける授業を目指す。
音楽	生徒が課題を発見し、それを解決するための協働的、探究的な活動を通して、仲間と交流しながら、主体的に表現できる授業を目指す。	外国語	生徒が自らの学習目標の達成に向けて積極的に学習し、4技能5領域をバランスよく習得できる授業を目指す。

(2) 生徒用タブレット端末の活用【市共通】

総合的な学習の時間や各教科の授業で、デジタル教科書や教育活動に有用な資料の提示、ファイル共有機能を活用した調べ学習、プレゼンテーションソフトを使った発表活動を行っている。